

北海道大学病院に通院中の患者さんへ

当院では、以下の調査を実施しております。この調査は、通常の診療で得られた記録をまとめることによって行います。このような調査は、厚生労働省の「医薬品の製造販売後の調査及び試験の実施の基準」の規定に基づき実施されます。医薬品の副作用の発現状況並びに品質、有効性及び安全性に関する情報を収集するために行われ、厚生労働省の医薬品の再審査・再評価の資料として活用されます。この調査に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] アセトアミノフェン製剤特定使用成績調査
＜アセトアミノフェン製剤の高用量投与による肝障害についての調査＞

[研究機関] 北海道大学病院

[研究責任者] 山田 武宏 (薬剤部・准教授)

[研究の目的] アセトアミノフェン製剤高用量を長期使用したときの肝障害の発現状況を調査するため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

アセトアミノフェン製剤を服用している患者さんで、平成23年1月21日から平成25年4月30日の間にアセトアミノフェンとして2.4g～4g/日の用量で4週間以上継続投与された方

●利用するカルテ情報

性別、年齢、妊娠の有無、入院・外来の別、身長、体重、原疾患、合併症、既往歴、アレルギー歴、医薬品副作用歴、アルコール飲酒歴、併用薬の使用状況、検査結果(肝機能検査)、臨床症状

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目
北海道大学病院 担当薬剤師 榊原則寛
電話 011-706-5681 FAX 011-706-7616